

2013年12月4日

中野裕之監督ノンフィクションフィルム
「FLYING BODIES」に関するお知らせ

上映期間延長決定！

テアトル新宿でワールドプレミア上映中の中野裕之監督ノンフィクションフィルム「FLYING BODIES」の上映期間が、12月20日（金）まで延長されることが決まりました。

www.ttcg.jp/theatre_shinjuku/

連日1回上映： 12月6日（金）までは、午前10時～

12月7日（土）から13日（金）までは、午後12時20分～

12月14日（土）からの上映時間は、12月11日以降テアトル新宿にお問い合わせください。

シネマ・ツアーでのスペシャルイベント上映の内容が決まりました！

12月12日（木）午後7時30分から、日本一の音響を誇る映画館シネマ・ツアー（JR立川駅北口モノレール沿）で行なわれる一夜限りのスペシャルイベント上映の内容が決定しました。

「FLYING BODIES」上映終了後、中野裕之監督、オープンリールアンサンブル、BLUE TOKYOによるライブトーク＋映像＋ミニパフォーマンスが行なわれます。中野監督はこの映画づくりに込めた思いを語るだけでなく、監督が撮影した新たな映像を通して、7月に行なわれた「青森大学男子新体操部」公演の音楽や映像の舞台裏の様子を明らかにします。また、同公演の音楽を担当したオープンリールアンサンブルは、男子新体操の演技にあわせた音楽づくりについて語り、デモンストレーションも行ないます。そして、ダンス＋男子新体操のプロユニットであるBLUE TOKYOは、男子新体操の魅力を伝えるミニパフォーマンスを行ないます。

オープンリールアンサンブル

2009年より活動を開始した音楽ユニット。メンバーは5人。磁気記録メディア全盛の時代に、最高の音質と性能を誇ったオープンリール式磁気録音機をコンピュータにドッキングし、あらたな「楽器」として蘇らせ演奏。メディアアートと音楽の双方を自由に行き来するスタイルが特徴。www.facebook.com/OpenReelEnsembleBraunTubeJazzBand?fref=ts

BLUE TOKYO

2010年、青森大学新体操部の卒業生を中心に結成されたダンス＋男子新体操のプロユニット。アスリートからアーティストへ。研ぎ澄まされた肉体と高い芸術性を兼ね備えた唯一無二の新たな表現に取り組む。国内ではテレビ・舞台のライブパフォーマーとして、また、シルク・ド・ソレイユのMICHAEL JACKSON THE IMMORTAL WORLD TOURに参加するなど、男子新体操の活動を国際舞台へと広げている。2013年1月に2,000人を集めた青森市での初公演「BLUE」を成功させ、2014年2月には「BLUE VOL.2」を開催する。<http://www.bluetokyo.jp/>

■お問い合わせ先： フライイングボディアーズ製作委員会 info@flyingbodies.jp